

看護師が臨床推論を行う上で必要な知識 学習チェックシート

*強化書（診療の補助の強化書）、洞察本（洞察力で見抜く急変予兆） 数字は、記載されているページ数

		強化書	洞察本	達成予定日	達成日
Step1	解剖生理	心臓	26	330	
		気管、気管支、肺胞、肺、胸郭	22	328	
		消化管	38	337	
	バイタルサイン/ ショック	GCS・JCS	255	17	
		体温、脈拍数（心拍数）、呼吸数、呼吸リズム、血圧（平均動脈圧）、SpO2の基準値	260	20	
		qSOFA、SOFA、NEWSを使用して重症度の評価	316	271	
		血圧の構成因子	278	24	
		一次救命処置	139	162	
	フィジカルアセスメント	呼吸音の評価	269	67	
		副雑音（スクオーク）の評価	269	68	
		副雑音（ウィーズ）の評価	269	68	
		副雑音（ロンカイ）の評価	269	68	
		副雑音（ファイクラックル）の評価	269	68	
		副雑音（コースクラックル）の評価	269	68	
		ストライダーの評価	269	69	
	心電図	洞調律、正常洞調律、刺激伝導系	63	85	
		洞性徐脈、洞性頻脈	70	88	
		心室頻拍、心室細動	70	99	
		PEA、心静止	85	101	
	酸素療法	大気の組成	124	-	
		ボンベの種類、中央配管の種類	124	-	
		低流量システム	125	-	
		高流量システム	127	-	
	血液ガス分析	pH、PaO2、PaCO2、HCO3の基準値	142	146	
		アシデミア、アルカレミア	142	146	
	血液検査データ	白血球の基準値	321	133	
ヘモグロビンの基準値		202	134		
画像	胸部単純X線写真	214	118		
輸液・薬剤	生理的食塩液	175	311		
	5%ブドウ糖液	177	313		
電解質	Naの基準値	169	286		
	Kの基準値	169	289		
臨床推論	SAMPLER	-	7		
	OPQRST	-	7		
病態	I型呼吸不全、2型呼吸不全（CO2ナルコーシス）	130	-		
	肺炎	318	184		
	尿路感染症	318	-		
	循環動態を支える4因子	279	158		
Class 2	解剖生理	胸腹部動脈	36	333	
		胸腹部静脈	37	336	
		肝胆膵	41	339	
		腎臓、ネフロン	45	343	
	VS/ショック	ショックの鑑別	278	154	
		3rdスペース	284	-	
	フィジカルアセスメント	Head to toe Approach（頭頸部、胸部、腹部、背部、骨盤、四肢、手指手掌、足趾足）	266	58	
		炎症所見	266	34	
		中枢性チアノーゼと末梢性チアノーゼ	266	34	
		腹膜刺激徴候	270	73	
	心電図	標準12誘導心電図	102	83	
		洞不全症候群	71	89	
		心房細動	74	90	
		心房粗動	75	91	
		房室接合部性調律	73	-	
		上室性期外収縮	72	89	
		心室性期外収縮	77	92	
	促進性心室固有調律	84	100		
	酸素療法	低酸素血症	131	-	
		人工鼻（HME）	130	-	
	血液ガス	呼吸性アシドーシス	150	148	
		呼吸性アルカローシス	154	148	
	血液検査データ	肝機能障害	190	135	
		腎機能障害	196	138	
		貧血の鑑別	202	134	
		心機能の評価	208	-	
	HbA1c	307	-		

Class 2	画像	胸部CT	217	122		
		腹部CT	234	-		
	輸液・薬剤	細胞外液補充液	178	311		
		膠質液、アルブミン製剤	179	-		
		低張性電解質輸液	181	313		
		循環作動薬	288	316		
		利尿薬	289	-		
	電解質	高ナトリウム血症	169	286		
		高カリウム血症	170	289		
		低カリウム血症	172	290		
	臨床推論	発熱の鑑別	260	付録ページ		
		浮腫の鑑別	266	299		
		呼吸困難の鑑別	144	付録ページ		
		胸痛、胸背部痛の鑑別	-	付録ページ		
	病態	急性冠症候群	111	201		
		心不全（クリニカルシナリオ）	208	225		
		腸閉塞	235	241		
敗血症		316	271			
大動脈解離		35	214			
肺血栓塞栓症		297	220			
急性腎障害		196	263			
胆嚢炎・胆管炎		43	246			
Class 3	解剖生理	脳の機能局在	12	322		
		脳血管	15	325		
	VS/ショック	ショックにおける初期対応	278	154		
	フィジカルアセスメント	神経診察（脳卒中）	273	39		
		神経診察（小脳失調）	275	50		
		聴膜刺激徴候	276	54		
		心音（2RSB、エルブ）	269	64		
		心音（3音）	269	66		
	心電図	虚血性心疾患	109	103		
		発作性上室性頻拍	75	94		
		AVブロック	79	95		
		Blocked PAC	82	98		
	酸素療法	低酸素症	131	-		
		ハイフローセラピー	130	-		
		PF比	144	-		
		AaDO2	145	-		
	血液ガス	代謝性アシドーシス	158	149		
代謝性アルカローシス		162	149			
血液検査データ	凝固能の評価	205	139			
	脱水の評価	283	292			
	甲状腺異常	212	-			
画像	脳CT	240	124			
	脳MRI	242	128			
輸液・薬剤	糖化アミノ酸製剤	185	-			
	脂肪乳剤	185	-			
	高カロリー輸液	185	-			
	降圧薬	290	-			
	経口血糖降下薬	309	-			
	デエスカレーション	324	-			
	GI療法	170	290			
電解質	低ナトリウム血症	169	287			
臨床推論	LQTSFA	-	14			
	意識消失の鑑別	254	付録ページ			
	めまいの鑑別	-	付録ページ			
	嘔気嘔吐の鑑別	-	付録ページ			
	腹痛の鑑別	-	付録ページ			
病態	右室梗塞	110	210			
	感染性心内膜炎	319	-			
	脳卒中	-	163			
	糖尿病	306	281			
	HHS、DKA	307	284			
	CD関連下痢症	318	270			

*動画、資料の完全コピーでもいいので何も見ずに説明できる（書きながらが望ましい）。

*6割程度の理解で先に進んでかまわないものの、折に触れて戻って理解を確認してください（どんどん理解が深まります）。

*受講のみの記憶定着率が5%である一方、講義を行うことは80%以上と言われています（ラーニングピラミッド参照）、知人やぬいぐるみでもいいので積極的に模擬講義を行いましょう。

*Class 1は1年目終了時、Class 2終了で特定行為研修**共通科目**開始レベル、Class 3終了で特定行為**区分科目**研修開始レベルを想定しています。